



報道発表資料

2006年10月11日
インフォテリア株式会社

インフォテリアの「ASTERIA」が EAI 製品でトップシェアを確立

～ 国内の出荷本数で Microsoft BizTalk を抜き ASTERIA が第 1 位に～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎）は、民間調査会社のテクノシステムリサーチ社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤田 正雄）の調査の結果、国内 EAI 市場においてデータ連携ソリューションスイート「ASTERIA（アステリア）」がマーケットシェアで第 1 位になったことを発表します。

テクノシステムリサーチ社の「2006年ソフトウェアマーケティング総覧」（2006年9月末発刊）によると、2005年度の ASTERIA の出荷本数シェアは 18.3%となり、昨年第 1 位であった Microsoft BizTalk Server の出荷本数シェア 17.4%を凌駕し、EAI 製品で国内マーケットシェアの第 1 位を獲得しました。

インフォテリア株式会社代表取締役社長の平野洋一郎は、「ASTERIA が EAI 製品としてトップシェアとなったことは、発売時から私たちが提唱している『ノン・コーディング』によってシステムの生産性が高まることが幅広く認められた結果であると大変喜んでいきます。これからも、インフォテリアは『つなぐエキスパート』として、企業におけるさまざまな連携を迅速に実現するためのソフトウェアの提供を続けてまいります。」と、述べました。

ASTERIA は、サーバーとデザイナーと呼ばれる開発環境からなる、データ連携ソリューションのためのソフトウェア製品です。異なるシステムや異なるデータフォーマット間の連携をスピーディーに実現することができ、その柔軟性と信頼性から金融機関や報道・通信機関、公営競技などにも採用されています。

また、「ノン・コーディング」をコンセプトに GUI ベースで提供される開発環境により、特定のエンジニアのスキルに依存することなく、迅速にシステム間の連携開発を行なうことができ、ビジネス環境の変化に合わせてシステムを変更・拡張することが可能です。

インフォテリア株式会社について

1998年に国内初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、ビジネスにおける企業内外の多種多様なコミュニケーションを迅速化、可視化するためのソフトウェアを開発・提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

導入数は、2006年9月末日の実績です。

Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です

プレスリリースに関するお問合せ先

(報道関係各位からのお問合せはこちらにお願いします)

インフォテリア株式会社

広報担当	嶋 かおる
TEL	03-5718-1297
E-mail	press@infoteria.co.jp

以上